

子育てしやすい立川へ
市民に寄り添った施策を

松本 あきひろ（たちかわ自民党・安進会）



問 基礎自治体は子育て支援を第1の施策として掲げています。本市でも子育て環境の整備等に力を入れ、待機児童の解消等効果が現れていますが、市民からはもう一つ何とかしてほしいとの希望があり、これまで以上の努力が期待されています。子育てしやすい立川として、かゆいところに手の届くよう、施策の展開のあり方など先進事例を研究し、工夫していくことが必要であり、給付事業を充実させることが特に重要であると考えますが、市の見解は。

答 令和5年度から開始する給付事業として高校生等への医療費助成事業等の準備を現在進めているところです。先進的な取り組みを行う自治体の事例や子育てしやすい街ランキングなどの基準となる評価ポイントについて、日頃より情報収集に努めており、子育て支援策の推進にあたっては、市民の意見・要望を踏まえた上で、先進事例も参考にしながら、本市の地域性や強みを生かした施策を立案していきたい。

一般質問項目

①富士見町周辺地域まちづくりについて ②子育てに良い街の進展について ③SDGsに関連した状況などについて

道路陥没の対策
空洞調査の質はどう担保するか

瀬 順弘（公明党）



問 道路陥没は、何らかの原因で発生した路面下の空洞が地表面近くに達して起こるため、未然に空洞を発見することが重要です。空洞調査の必要性の認識と、具体的な検討状況について伺います。空洞調査は一般的に、レーダーによる非破壊検査という、見えないところを見る調査なので、精度が重要です。業者の技術力に差があることを考えると、業者をしっかりと選定することが必要です。業者選定において、どのように品質を担保していく考えですか。

答 路面下空洞調査は、今後の道路管理において必要な調査であり、新技術の活用を含め検討を進めています。調査は、第1次、第2次と段階を踏んで行います。受注者の選定は、受注実績や他の公共団体等の空洞検出能力の評価等を参考にするとともに、総合評価、技術コンペ方式等の入札方法も検討していきます。令和5年度については、官民連携事業として第1次調査を実施する方向で検討しています。

一般質問項目

①防災減災の取り組みについて ②市民への情報発信について ③多摩川緑地炊飯場について ④滝ノ上会館改修工事について



用語解説

東京都環境影響評価条例

事業者が大規模な開発事業などを実施する際に、あらかじめ環境に与える影響を予測・評価し、内容について関係自治体などの意見を聴くとともに専門的立場からその内容を審査する一連の手続きの仕組みなどを定めた都の条例。GLP昭島プロジェクトの場合、環境に与える影響などについて、立川市も関係自治体として意見を述べるができる。



用語解説

UDタクシー

ユニバーサルタクシーの略。国が整備目標を設定し、普及を進めている、誰もが利用しやすいタクシーのこと。主な特徴として、広い車内、手すりやステップを装備した乗降口、車いすのまま利用できるスロープなどを備えている。



高松駅近くに残る給水塔

GLP昭島プロジェクト
交通渋滞や安全面の対策は

若木 早苗（日本共産党）



問 巨大物流拠点を建設するGLP昭島プロジェクトについて、交通渋滞や安全面について西砂町の市民から不安の声が増えています。地域住民が安心して生活できる環境を守るため、市としてどのような対応ができるのか。この地域は片側1車線の道路が多く、深刻な渋滞が予想されます。東京都環境影響評価条例においては、交通面について評価されるのか疑問であり、渋滞にならないようしっかり求めていくことが重要と考えますが、見解を伺います。

答 西砂町の市民からは、交通渋滞や安全面を心配する意見をいただいています。周辺は住宅地であり、近くに小学校もあるため、市としても大変危惧しており、東京都環境影響評価条例に基づく手続きの機会を通じて交通渋滞対策、安全性の確保、環境への配慮を求めています。同条例には交通渋滞の評価項目はありませんが、市民と協議する場や説明の機会を設けるなどの丁寧な対応を求めています。

一般質問項目

①コロナから命と暮らし、営業を守る対策と体制について ②GLP昭島プロジェクトの影響と対策について ③移動手段の確保策について

若者・女性の雇用問題
国や都と連携し率先して支援を

いしとび かおり（都民ファーストの会立川市議会）



問 コロナ禍で雇用環境が悪化し、特に非正規で働く女性の雇用の問題が浮き彫りになりましたが、本市の現状は。非正規雇用は契約期間があり、更新のたび就職活動をするのは心身ともに疲労感を伴うものです。市がハローワークなどと連携して市民の雇用環境を守る取り組みをすべきですが、見解は。都や国に任せず、市民に一番身近な行政として、市が生活に苦しむ若者や女性、非正規雇用の方々の声を吸い上げて現状を把握し、率先して支援いただきたい。

答 市は、ハローワーク立川から管内の雇用情勢の情報を提供されていますが、性別や年齢別の詳細は示されておらず、女性の非正規の方への影響は十分に把握できていません。本市は、国のマザーズハローワークや、東京しごとセンターの女性しごと応援テラスが駅至近の利便性の高い場所でサービスを展開するなど、他市にはない強みを有しているので、しっかりと連携し、その強みを活かしていきたい。

一般質問項目

①女性の雇用（パート・派遣社員など非正規）について ②インクルーシブ公園について ③民生委員の今後について

駅のバリアフリー対策
段差のないタクシー乗り場へ

大沢 純一（公明党）



問 武蔵砂川駅のタクシー乗り場に段差があり、車椅子での利用が不便という声があります。周辺市にある駅の状況を調べましたが、ほとんどの駅ではタクシー乗り場に段差はありませんでした。ところが、立川市では武蔵砂川駅以外にもタクシー乗り場に段差がある駅がいくつもあるという状況です。立川市内の駅のバリアフリー対策は、他市と比べて未整備と感じられる状況にあることから、改善するべきと考えますが、市の見解を伺います。

答 本市では人に優しい道路環境づくりのため、歩道段差解消等を進めています。タクシー乗降場等の公共交通の乗降場は、道路の移動等円滑化整備ガイドラインなどにに基づき整備していますが、近年増加しているUDタクシーを使用する交通事業者からは、マウンドアップした歩道へのタクシー乗降場の整備を求める声もあります。交通事業者や障害者団体等の意見を伺い、利用しやすい環境整備に努めてまいります。

一般質問項目

①防災について ②歩く環境の整備について ③口腔衛生について

立川の近代史を語る給水塔
後世に残していくべき

頭山 太郎（たちかわ自民党・安進会）



問 モノレール高松駅と立飛駅の近くに、計二つの給水塔があります。この給水塔は文化財の指定に値するのでしょうか。以前公開されたときには、非常に多くの人が訪れましたし、アメリカ兵の落書きがそのまま残されているようで、まさに立川の近代史を物語るシンボリックな建築物だと思います。文化財の指定にはどのような課題があるのでしょうか。また、市は後世に残していく方法を模索するべきと考えますが、見解を伺います。

答 給水塔は昭和13年に建築された、立川飛行場関連の建造物であり、詳細な調査はしていませんが、歴史的価値があると考えています。文化財の指定には、所有者等の保存の意志が前提となり、所有者には自身で調査を行うなどの金銭的負担が生じます。市側も調査を実施し、報告書をまとめるなどの手続きが必要です。相談があった場合は、市の関与の範囲等課題を整理した上で、協議を行う必要があると考えています。

一般質問項目

①立川駅南口東京都・立川市合同施設について ②ファーマーズセンターみののれ立川について ③発達相談における支援について ④男性用サニタリーボックスについて ⑤文化財保護について